



週間情報



No.0240

発行日 令和2年12月1日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第112回全国消防長会予防委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和2年10月30日（金）、書面会議により実施しました。
会議における議案等は次のとおりです。

【議案】

- 1 更なる「可燃性合成樹脂発泡体を断熱材等に用いた消防対象物に対する防火安全対策」の推進について
- 2 次期開催地について

【情報交換】

- 1 IoT機器を活用したリモート検査について
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた防火管理の指導方針について
- 3 オンライン化等による新たな講習形式について

【情報提供】

- 1 「キッズ消防隊」のキャラクターを活用した子どもへの救急啓発
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る非常事態宣言発令期間中における火災の分析について
- 3 法改正により建築確認の対象外となった小規模建築物に係る関係部局間との連携について
- 4 厨房排気ダクト等に用いるガルバリウム鋼板の取扱いについて
- 5 令和2年消防研究センターの体制と事業概要について
- 6 日本消防検定協会の業務紹介（住宅用火災警報器の作動状況等に関する調査について）
- 7 日本防災協会の事業取組状況について
- 8 令和2年度石油機器技術管理講習等の予定について
- 9 住宅用火災警報器2020年度交換促進広報展開について
- 10 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 11 住宅防火対策推進協議会の広報事業等について
- 12 予防技術検定受検準備講習会の実施予定等について
- 13 第59回火災科学セミナーの開催について
- 14 総務省消防庁からの情報提供 予防行政（課題と対応）

消防本部の動き

行事

◆ 郵便局に消防団協力事業所表示証を交付「集配車両に消防団員募集ステッカー」

習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和2年11月9日（月）、日本郵便株式会社習志野郵便局様へ消防団協力事業所表示証を交付しました。当消防本部管内では、近年、消防団員数が減少していることから、入団促進活動に力を注いでおり、その取り組みの一つとして消防団員募集広報ステッカーを作成しました。

この度、郵便局所有の全集配車両（バイク113台、軽四輪35台）にステッカーを貼付が完了し、集配の際に多くの市民の目に留まるよう広報活動にご協力をいただいています。今回の活動により幅広い年齢層から、1人でも多くの方々が消防団に入団されることを期待しています。

今後も、地域の安全・安心を守る消防団員を少しでも身近に感じていただけるように市内の事業所と協力し、消防団の充実強化に取り組んでまいります。



【消防団協力事業所表示証交付後の記念撮影】



【広報活動を行う集配車両】

◆ 防火関係機関と連携した街頭広報を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和2年11月9日（月）、J R松本駅前で、松本市防火管理協会・松本市消防団と合同で街頭広報を実施しました。

当日は、ミス松本の柿澤夕夏さんにご協力いただき、通勤・通学途中の方々に当消防局が製作したポケットティッシュやメモ帳などを配布して、火災予防を呼び掛けました。

当消防局管内では、今年1月からこれまで123件の火災が発生しており、これは前年同時期と比べ37件減少しているものの、死者は9人となっています。

これからの時季は、暖房器具など、火気を取り扱う機会が増え、火災が多く発生する傾向にあることから、「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」を合言葉に火災予防を広く住民の皆様に啓発するとともに、関係機関と連携した取り組みを進め、地域の安心・安全を支えてまいります。



【街頭広報の様子】



【製作したティッシュ・メモ帳】

◆ 京都府中・北部地域消防指令事務協議会の設置式を実施

福知山市消防本部（京都）

京都府中・北部地域の6消防本部（福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、京都中部広域消防組合、宮津与謝消防組合の各消防本部）では、令和2年11月9日（月）、区域内の災害通報の受信、出動指令、情報伝達の事務を共同して管理及び執行する「京都府中・北部地域消防指令事務協議会」の設置式を実施しました。

この協議会は、同6消防本部が福知山市消防本部に消防指令センターを設置し、令和6年4月からの共同運用開始を目指しています。

設置式では、同6消防本部の理事者・管理者を代表し、大橋一夫福知山市長から京都府知事（代理 京都府中丹広域振興局長）へ「京都府中・北部地域消防指令事務協議会設置届出書」を提出しました。



【設置届出書を提出】



【設置式の様子】

訓練・演習

◆ 第3回警防技術錬成会を開催

伊予消防等事務組合消防本部（愛媛）

伊予消防等事務組合消防本部では、令和2年11月10日（火）、秋季全国火災予防運動期間に合わせて、第3回警防技術錬成会を開催しました。

この錬成会は、火災現場における安全・確実な消防活動の遂行と、各隊員の基本的技術と知識のさらなる向上を図るほか、実災害での円滑な消防活動につなげることを目的として行ったものです。管内の3署、2出張所の各ポンプ小隊（1隊4名編成）が、防火造2階建て住宅の2階部分から出火し、ベランダに逃げ遅れ者がいるとの想定で訓練をしました。各隊の活動は、指揮要領、危険行動、消火、救出要領等のフェーズごとに審査員が評価して、訓練後、各隊にフィードバックを行いました。

今回の活動を検証し、今後の災害現場活動につながるよう一層の技術・知識の向上を図ってまいります。



【錬成会の様子】

◆ 海上保安庁との合同潜水訓練を実施

佐伯市消防本部（大分）

佐伯市消防本部では、令和2年11月10日（火）、海上保安庁第七管区海上保安本部（巡視船やまくに）との合同潜水訓練を実施しました。

これは、災害現場での円滑な連携が図れるように、基本潜水訓練、検索訓練、現場想定訓練を行い、相互の情報共有と技術の向上を目的として毎年実施しているものです。

今回の訓練でも、技術の向上を図るとともに、海上保安庁との緊密な関係を築くことができました。今後も、災害現場での安全・確実・迅速な災害対応ができるよう訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

◆ ごみ処理施設を利用した実践救助訓練を実施

高槻市消防本部（大阪）

高槻市消防本部では、令和2年11月11日（水）、12日（木）の2日間、「エネルギーセンター（ごみ処理施設）」の取り壊し予定の工場内で、実践救助訓練を実施しました。

訓練では、高低差約30mのごみピット内に作業員が転落したとの想定で、エネルギーセンター職員からの情報収集活動や救出活動を行い、各隊の連携強化を図りました。

今後も、いかなる状況でも、安全・迅速に救助活動が実施できるように様々な施設を活用した訓練を行い、救助能力のさらなる向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 令和2年度警防技術錬成会を実施

高砂市消防本部（兵庫）

高砂市消防本部では、令和2年11月12日（木）、秋の火災予防運動の一環で、署内各小隊対抗の警防技術錬成会を実施しました。

この錬成会では、共同住宅1階から出火したとの想定で、出動時の防火衣・呼吸器の着装から、訓練塔にある3つの的を放水で射落とすまでのタイムの合計を各小隊で競い合いました。

錬成会に向けた訓練で、警防活動に関する知識・技術の向上、資機材の取り扱いの習熟、隊員間のコミュニケーションの向上も図れたため、当日は、小隊ごとに「安心・確実・迅速」な活動が実施でき、今後の火災対応力の強化につながる有意義なものとなりました。



【錬成会の様子】

◆ 多数傷病者事故対応合同訓練を実施

島尻消防組合消防本部（沖縄）

島尻消防組合消防本部では、令和2年11月10日（火）、11日（水）、12日（木）の3日間、多数傷病者事故対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、多数傷病者事故等が発生した際に、自らの役割・立場でどのように行動するかを考えるほか、連携を強化することを目的として行いました。

昨今の社会情勢を踏まえ、感染症の感染防止措置を施しながら行い、多くの諸課題も確認でき効果的なものとなりました。

今後も訓練を継続し、構成市町の安心・安全のための救急技術の向上に努めてまいります。



【座学の様子】



【訓練の様子】

◆ 重機に関する意見交換会と重機実動訓練を実施

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和2年11月14日（土）、総務省消防庁より関東圏内で重機・重機搬送車を無償貸与されている当消防本部のほか、館林地区消防組合消防本部、石橋地区消防組合消防本部、つくば市消防本部、深谷市消防本部、上尾市消防本部、船橋市消防局の7消防本部（局）が集い、これまでに重機が出動した災害事例等の意見交換会と重機の操作技術向上を目的とした実動訓練を実施しました。

当日の実技では、倒壊物移動訓練、土砂登降訓練、旋回・ブロック積上訓練、障害物移動訓練、微動操作訓練を全員が体験することができました。参加者からは、「顔が見える関係が構築できた。」「経験不足であった操作技術を習得することができた。」などの感想が聞かれ、とても有意義な訓練となりました。

今後も市民の安心・安全のため訓練を重ね、災害対応力を強化してまいります。



【訓練の様子】



【訓練参加者集合写真】

研修等

◆ 新型コロナウイルス感染症に関する講習会を開催

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、令和2年11月12日（木）、管内の中核病院であり、新型コロナウイルス感染症陽性者を治療している東京医科大学茨城医療センターと茨城県竜ヶ崎保健所との3機関合同で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する講習会を開催しました。

この講習会は、危機管理本部長である消防長をはじめ、次長、各所属の監督・責任者が参加して行い、医学的基礎知識、感染予防に関する具体策、所属における環境整備、感染者の早期発見、職員の感染時の対応など、多くの専門的知識を学び、習得することができました。

今後も、3機関の連携を強化して情報の共有を図ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 指揮隊研修を実施

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、令和2年11月9日（月）、12日（木）の2日間、消防司令及び消防司令補の職員29名を対象とした指揮隊研修を実施しました。

この研修は、火災現場における実態把握、状況判断、活動方針の決定などの指揮活動要領の習得を目的としたものです。指揮シミュレーション訓練を行うことで、災害の推移を踏まえた指揮能力及び複数部隊活動時の部隊指揮能力の向上を図ることができました。

今後も、多種多様化する災害に対応するため、研修を実施してまいります。



【研修の様子】

その他

◆ ポルトガル語による火災予防広報を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部大泉消防署では、令和2年11月9日（月）から、大泉町役場と連携してポルトガル語による火災予防広報を実施しています。当消防署管内には、管内人口の19%にあたる、約8,000人の外国人が住んでおり、そのうちの70%以上がブラジル・ペルーなどの南米系の人々であることから、ポルトガル語による火災予防広報を行うこととしました。

広報は、消防車両によりポルトガル語の音声広報を行うとともに、町内自治会に協力を依頼して、回覧板を使ったポルトガル語版防火チラシの配布などを行っています。

今後も、言葉や文化、習慣の違う人たちがともに安心して快適な生活が送れるように「秩序ある共生のまちづくり」を目指してまいります。



【消防車両を使った音声広報】



【ポルトガル語版防火チラシ】

◆ 小学生の救命リレー「119番の日」

柏市消防局（千葉）

柏市消防局旭町消防署では、令和2年11月9日（月）、「119番の日」に、市内の小学生を対象とした救命講習を実施しました。当市は、2013年に県内初の「ジュニア救命士制度」を設けており、小学校5、6年生の授業に救命講習を取り入れることで、幼少期のうちから命の大切さや救命法を学んでもらっています。

ジュニア救命士として認定を受けた小学生からは、「人が目の前で倒れたら勇気を出して大きな声で助けを呼び、救急車が来るまで命をつなげます。」と、力強い決意が聞かれました。これからも柏市教育委員会と連携し、小学生に命の尊さを教育してまいります。



【救命講習の様子】

◆ 火災予防運動の横断幕を歩道橋に設置

熊本市消防局（熊本）

熊本市消防局北消防署では、令和2年11月9日（月）、秋季全国火災予防運動の初日に合わせ、火災予防運動のPRのための横断幕を管内の歩道橋に設置しました。

この横断幕はこれまで、消防庁舎のバルコニーに設置していましたが、立地上あまり目立たなかったため、より多くの人に目にしていただけるように関係機関や地元自治会のご理解とご協力を得て、当消防局初の試みとして庁舎以外の場所に設置しました。

今後も、積極的な火災予防運動を展開して火災ゼロを目指してまいります。



【火災予防運動の横断幕 設置状況】

◆ 「ホテル・旅館一斉査察」を実施

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、令和2年11月11日（水）、「ホテル・旅館一斉査察」を実施しました。この査察は、秋の火災予防運動の期間に合わせ、宿泊施設の避難口や階段等の避難管理に主眼を置いて実施したもので、査察隊4隊が市内のホテルや旅館10施設を対象に一斉に立入検査を行いました。

避難口や階段等に物品が置かれていることで、避難障害や防火戸の閉鎖障害が発生することや消防隊の活動障害となり、火災発生時に甚大な被害につながるおそれがあります。関係者に対してこれらの危険性について理解を求めるとともに、リーフレットを配付することでさらなる防火管理体制の徹底を依頼しました。

今後も、防火安全対策の強化を図るとともに市民の安心・安全の確保に努めてまいります。



【一斉査察の様子】

◆ 動画公開「福岡市消防音楽隊 ドラえもん #7119編」

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局（福岡市消防音楽隊）では、令和2年11月11日（水）、自作の動画をYouTubeで公開しました。

この動画では、当消防音楽隊が演奏する「ドラえもん」の曲とともに、救急医療電話相談窓口#7119についてお伝えする内容となっています。

コロナ禍で活動が制約される中、消防音楽隊として少しでも市民に有益な情報をお届けしたいという思いで作成しました。QRコードからぜひご覧ください。



【動画のサムネイル】



【動画はこちらから↑】

◆ 令和2年秋季火災予防運動PR消防職員駅伝を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和2年11月14日（土）、秋季全国火災予防運動に合わせ、駅伝形式で火災予防のPRを実施しました。実施にあたって今季は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、非接触型の広報手段をとることとしました。

埼玉県名発祥の地であり令和2年3月に「特別史跡」に指定された「埼玉（さきたま）古墳群」と関東七名城のひとつ「浮き城」の別名を持つ「忍城」を経由するコースで、当消防本部職員総勢22名がタスキをつなぎながら、火災予防広報を行い、市民のみならず歴史ある名所を訪れた市外観光客からの声援と拍手に応え、注目をいただくことで火災予防思想の一層の普及を図ることができました。



【駅伝の様子～行田八幡神社～】



【駅伝の様子～忍城御三階櫓～】

◆ 路線バスの行先表示機で火災予防運動PRを実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和2年11月9日（月）から15日（日）までの7日間、秋季全国火災予防運動に合わせ、管内を運行するバス会社3社（株式会社東海バス、富士急シティバス株式会社、伊豆箱根バス株式会社）の協力を得て、回送時の路線バスの行先表示機に、「火災予防運動実施中」の掲示を行いました（計200台）。

これは3社の協力で今回初めて実施したものです。行先表示機は夜間の視認性にも優れており、住民に広く火災予防運動をアピールすることができました。

今後も継続的に実施することで、地域住民の防火意識の向上を図るとともに、安全・安心を守ってまいります。



【火災予防運動をPRする行先表示機】

消防学校からの便り

◆ 開校以来初！消防学校と警察学校が合同訓練を実施

愛媛県消防学校

愛媛県消防学校では、令和2年11月10日（火）、当消防学校第31回専科教育「救助科」訓練生18名と県警察学校初任科生27名で合同訓練を実施しました。

県警察学校初任科生は、「救助科」訓練生の指導の下、訓練塔を使用して濃煙内での避難誘導の体験や放水訓練を行いました。また、実火災体験型訓練施設を使用した救助科訓練生が行う活動を見学する中で、火災の火勢延焼拡大状況の変化のほか、濃煙熱気、放水による環境の変化など、実際の火災現場に近い状況を体感していただきました。

消防と警察は、災害現場活動で、被害軽減のために迅速・的確かつ強固な連携が必須となることから、今後も両校で交流を深め、住民の安全・安心を守ってまいります。



【訓練の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 降積雪期における防災態勢の強化等について

(中防消第12号、令和2年11月20日)

中央防災会議会長（内閣総理大臣）から関係都道府県防災会議会長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであるが、例年、降積雪期においては、依然として災害による犠牲者が発生している状況にある。

近年では、平成18年豪雪において152名に上る多数の死者が発生している。一昨年冬期は、12月末の強い冬型の気圧配置による北・東日本日本海側を中心とした暴風雪や大雪などにより、死者40名、重傷者277名等の人的被害が発生するとともに、住家被害や、電力、水道等ライフラインの被害、交通障害、農林水産業への被害等が発生し、市民生活に影響を及ぼしたところである。一以下省略一

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/201120tuuti.pdf>) に掲載されています。

報道発表

◆ 「石油コンビナート災害対応への先進技術活用検討会」の開催

(令和2年11月19日、消防庁)

石油コンビナートにおける総合的な防災体制の充実強化を目的に、「石油コンビナート災害対応への先進技術活用検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201126_tokusai_1.pdf) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室
担当 姫嶋、喜多村、藤田 (素)
電話 03-5253-7528
FAX 03-5253-7538

情報提供

◆ ダイワロイネットホテルズ 特別利用契約のご案内

一般財団法人全国消防協会

新たに一般財団法人全国消防協会の賛助会員・指定店登録事業者となりましたダイワロイヤル株式会社より、会員（消防職員）向けに、同社が全国で運営するダイワロイネットホテルズを特別会員料金で宿泊できる特典をご提供いただきました。

会員（消防職員）の特典の詳細と専用 Web サイトの利用方法につきましては、令和2年12月2日（水）に、各本部宛にご案内チラシをメールにて送付いたしますので、ぜひご覧ください。

【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

◆ 家庭常備薬等の斡旋について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者である白石薬品株式会社が販売する家庭常備薬等を、会員（消防職員）に年2回斡旋しています。

本斡旋は1人分からお申し込みが可能で、前回（本年4月）の斡旋では2,188名の方にお申し込みいただきました。

商品の一覧や申し込み方法等につきましては、11月号のほのお・会報便に資料を同梱しておりますので、ぜひこの機会にご活用ください。

掲載商品（一部）

商品名	斡旋価格	参考価格
プレコール感冒カプセル	360円	1,320円
バンテリンコーワ液EX	1,780円	2,750円
爽AL目薬	290円	1,738円

【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

◆ 令和3年春の火災予防運動用ポスター等の斡旋について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年春と秋の火災予防運動の時期に合わせて、全国の消防本部（局）に火災予防運動用ポスター等の斡旋を行っております。

令和3年春の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等を斡旋いたしますので、貴消防本部（局）の火災予防運動にぜひご活用ください。

記

1 令和2年度全国統一防火標語
『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』

2 斡旋するポスター等
以下の6種で、いずれもモデルは「上坂 樹里（こうさか じゅり）」さんです。

種 別	ポスター		立看板用ポスター	防火チラシ
	B 2判	B 3判		
記 号	N-1	N-2	N-3	N-4
	S-1	S-2		

3 申込方法
所定の申込書により、FAX または郵送にて直接業者にお申し込みください。

4 申込先
有限会社仲田春光堂
〒340-0004 埼玉県草加市弁天4丁目23番14号
TEL 048-932-4085 FAX 048-932-4086

5 申込締切日
令和2年12月25日（金）までに業者必着

6 その他
詳細につきましては、令和2年11月30日付全消協第163号にて各消防本部（局）あてに、ポスター等の各見本とともに案内文書を送付しておりますので、ご確認ください。



【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

◆消防職員賠償責任保険について（2021年4月1日保険始期の募集開始）

一般財団法人全国消防協会

NEW

- 迷惑行為被害対応費用担保特約の追加付帯
- 保険料の改定

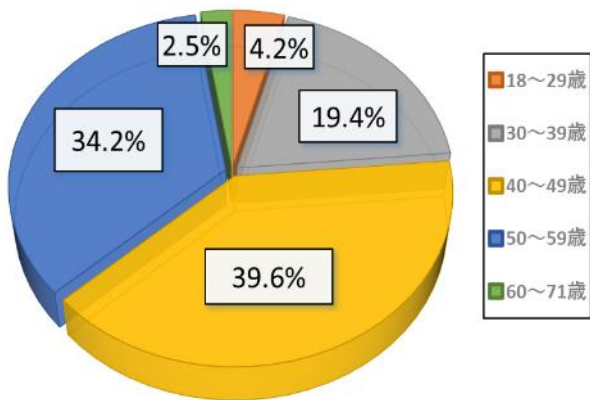
消防職員賠償責任保険は、消防職員が公務員としての職務行為に起因して、他人の生命・身体を害したり、財物を損壊したり、個人情報情報の漏えいにより他人のプライバシーを侵害したこと等に対して、保険期間中に損害賠償請求または不当利得返還請求等がなされたことにより「職員個人」が負担する争訟費用や法律上の損害賠償金等の損害を補償するものです。また、新たに第三者によって行われた迷惑行為による被害について「職員個人」が被る損害も補償します。



NEW

- 特長1 救急救命士の専門業務に伴う損害も補償対象です！
- 特長2 住民訴訟のみならず民事訴訟にも対応しています。
- 特長3 退職された後の請求にも5年間補償が継続されます。
- 特長4 第三者による迷惑行為の被害に伴う弁護士費用等も補償されます！

消防職員賠償責任保険加入者年齢比率
(令和2年10月現在)



募集期間

★4月1日保険始期よりご加入の場合
申込：2020年12月～2021年2月12日（金）

保険料：4,000円（年間）

※インターネットからの申し込みもできます。



←読み取り専用のアプリから
アクセスして下さい。

※パンフレットや更新のご案内は、2021年1月に消防本部へお送り致します。

資料請求等は、担当者までご連絡下さい。

問合せ先 消防職員賠償責任保険
担当 妻神 小池
電話 0120-065-988
FAX 03-3234-1847

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）33ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 田島

原稿データは、kikakeikaku@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 田中

原稿データは、honoo@fcj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 菅原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。